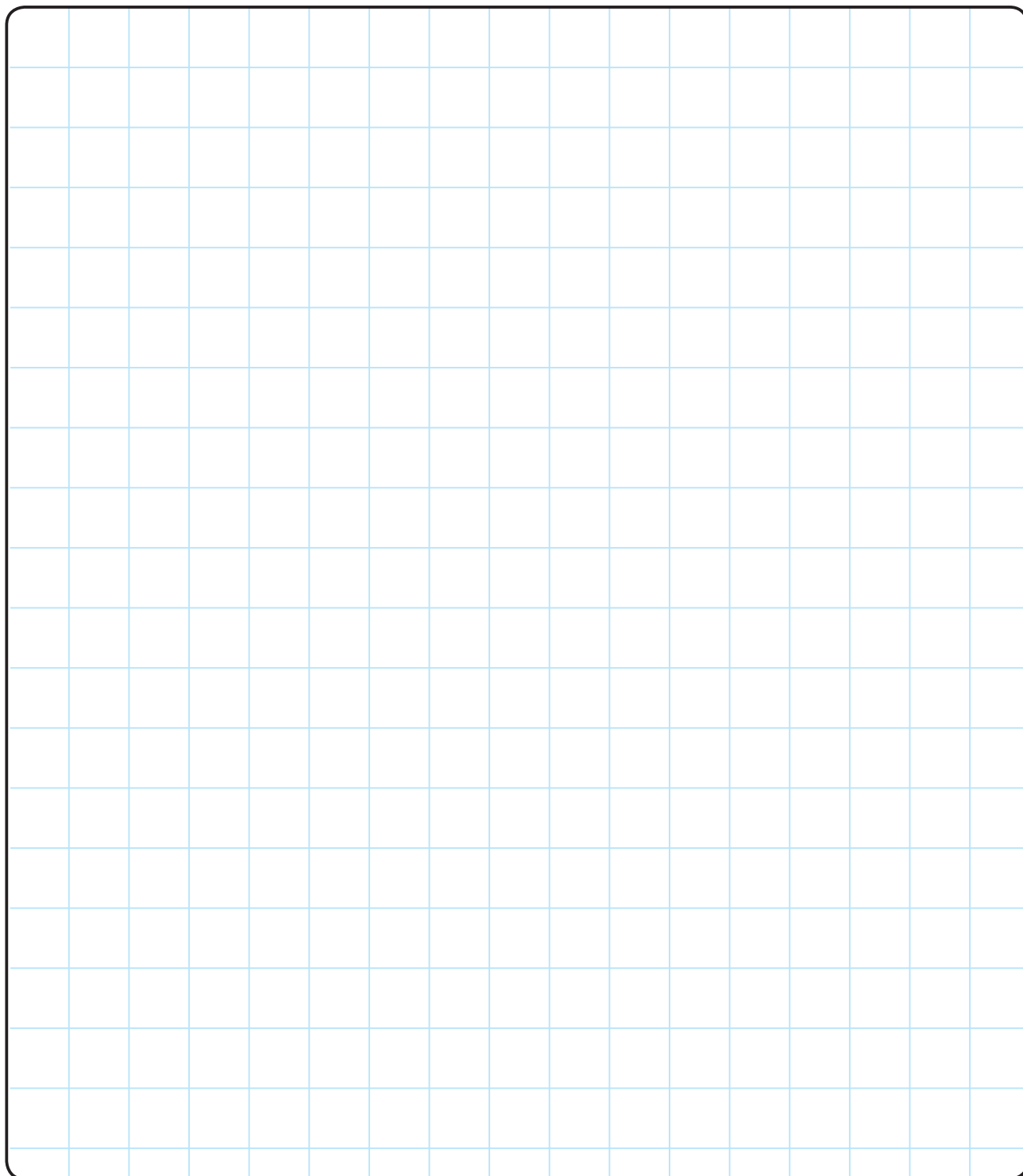


## 家具の配置書き込み用シート

あなたの家の間取りをおおまかに書いてみましょう。まず、家族で食事を取る部屋の様子を、以下に書いてください。次いで、今、寝る場所などの様子を書きこみます。

地震が起きたら危ないと感じるところがあれば、ふせん（メモ）に書き出してください。

記入欄：

A large rectangular area filled with a light blue grid, intended for drawing a floor plan. The grid consists of 20 columns and 20 rows of squares.



## 家具の配置・固定の工夫

寝る場所の工夫……………家具が転倒・移動しても影響がない位置に寝る場所を確保する。

家具の配置の工夫……………寝る場所や出入り口に近い場所にタンスなどの家具を置かない。方向を変える。

収納方法の工夫……………重いものは、家具の下の方に収納する。家具の上に重いものを置かない。

家具の固定……………各種固定器具で固定する（L型金物、ポール式、チェーン等による）。

家具の下にストッパーやマットを入れて補強するほか、壁への家具固定と家具の上下連結の併用など、2つ以上の補強を行うと効果的。

ガラスの飛散防止……………食器棚や本箱などに飛散防止フィルムを貼り付ける。

扉開放防止器具……………食器棚や本箱などに扉開放防止器具を貼り付ける。

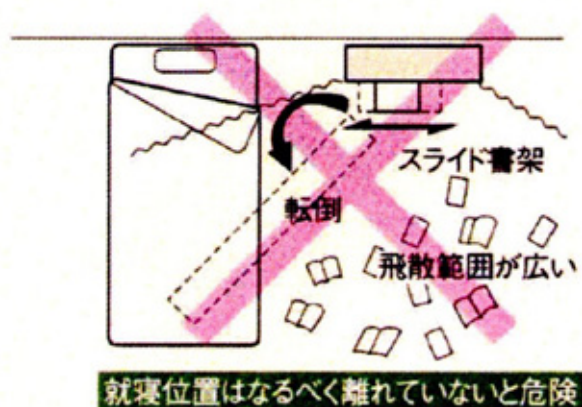
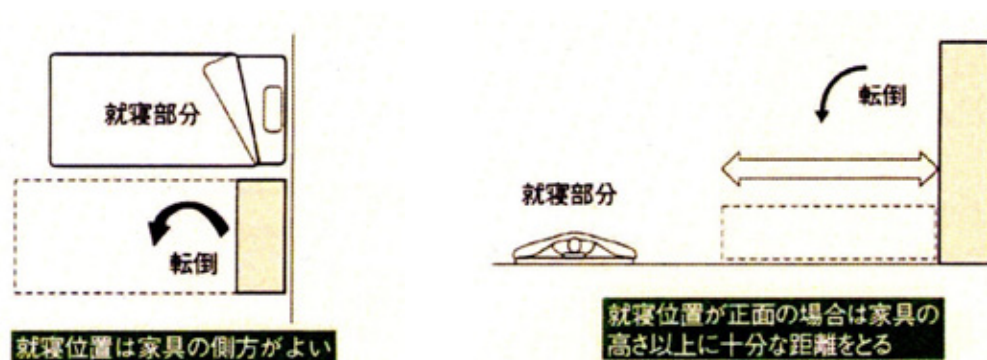
### 1 安全な家具の配置の工夫

#### ① 寝る場所を安全にする

寝る場所には、背の高い家具を置かないことが大切です。どうしても置かなければならない時は、置く向きに注意すること、家具の上に物を置かないこと、重い物は下へ置くこと等に気を付けましょう。

寝る場所との位置関係では、家具の側方が安全です。もしも、家具の前の方で寝る場合は、家具の高さ以上に十分に離れましょう。

スライド書架付きの本棚は、安定が悪いので寝る場所からなるべく離しましょう。部屋の間取りと家具の配置を紙に書きだしてみると、家の中の危険を把握しやすくなります。

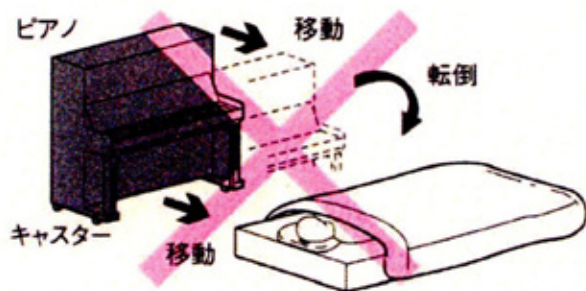


(出典) 消防庁：震災対策ビデオ(2009)、「地震による家具の転倒を防ぐには」をもとに作成

## 家具の配置・固定の工夫

## ② ピアノを置く位置

ピアノは、キャスターが付いているため確実な移動防止が行われている場合以外は、寝る場所に置かないようにしましょう。



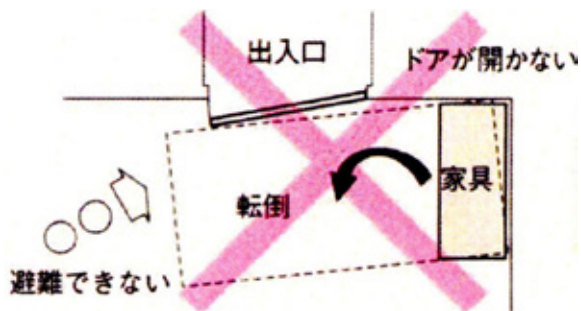
## ③ テレビやパソコンを置く位置

台に乗せたテレビやパソコンは飛び出す可能性があるため寝る場所の近くに置かないようにしましょう。



## ④ 出入り口付近の家具を置く位置

出入り口の近くに家具を置くと、家具の移動や転倒、収納物の散乱などによって避難路が遮られることがあるので、なるべく家具を置かないようにしましょう。



## ⑤ 座布団やスリッパなどの常備

ガラスの破片が散乱した場合でも通路を確保できるよう、台所には座布団やスリッパなどを常備しておきましょう。



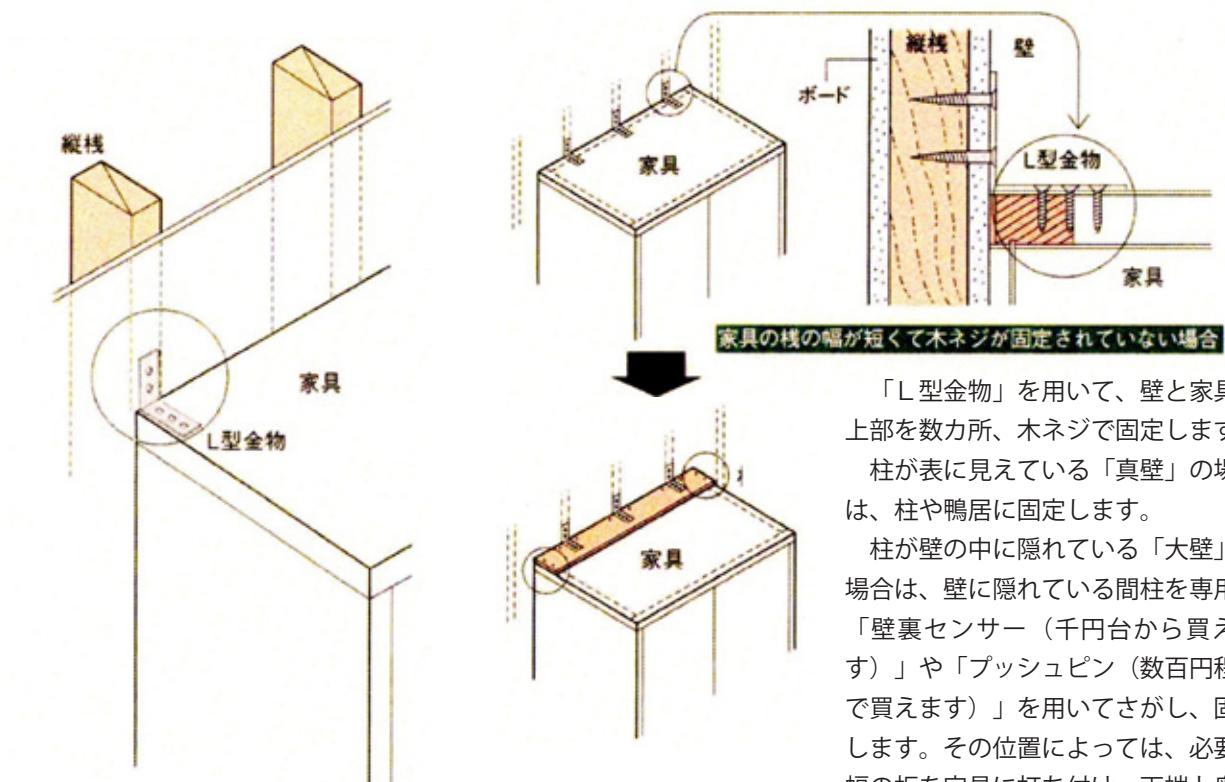
## ⑥ 家具の収納方法の工夫

家具の中の重い物は下へ置くようにしましょう。家具の上に物を置かないようにしましょう。

## 家具の配置・固定の工夫

## 2 家具の固定方法

## ① 棧に直接固定する方法



「L型金物」を用いて、壁と家具の上部を数カ所、木ネジで固定します。

柱が表に見えている「真壁」の場合は、柱や鴨居に固定します。

柱が壁の中に隠れている「大壁」の場合は、壁に隠れている間柱を専用の「壁裏センサー（千円台から買えます）」や「プッシュピン（数百円程度で買えます）」を用いてさがし、固定します。その位置によっては、必要な幅の板を家具に打ち付け、両端と奥でL型金物を止めます。



L型金具



壁裏センサー



プッシュピン

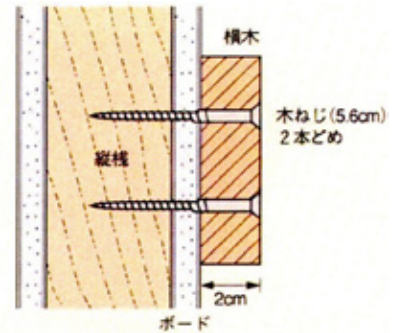
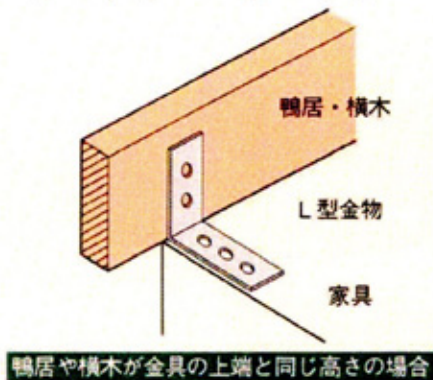
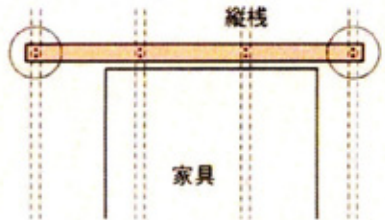
(出典) 消防庁：震災対策ビデオ(2009)、「地震による家具の転倒を防ぐには」をもとに作成



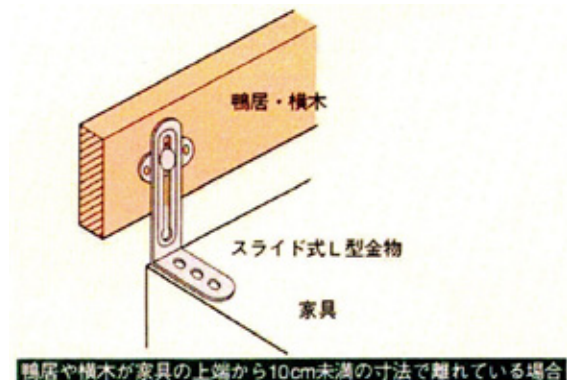
## 家具の配置・固定の工夫

## ② 鴨居や横木への固定方法

家具を鴨居に固定するほか、壁に横木を取り付けてL型金物を固定することもできます。横木と家具の高さがそろわない場合（10cm未満）、スライド式金物を使用します。



45cm間隔の縦横に横木を取り付ける場合

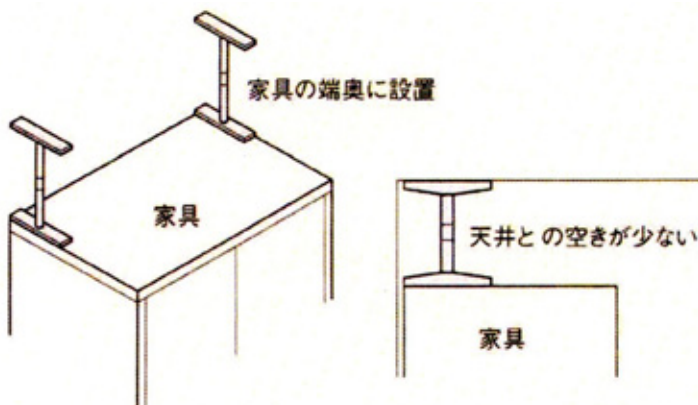
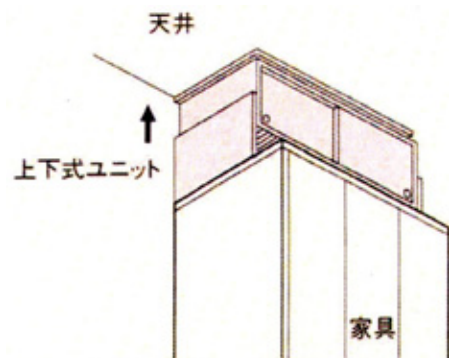


## ③ 棧に固定できない場合の固定方法

固定できない壁の場合には、家具を天井と床の両方で固定します。天井は、「ポール式」か「隙間家具」で、床の部分は「粘着マット式」か「ストッパー式」を使って固定します。

「ポール式」は、まず両端から、家具の後側にポールが真直ぐ立つように取り付けてください。木造住宅等で天井に強度が無い場合があるので、このような場合には、当て板を一枚引いてから取り付けてください。

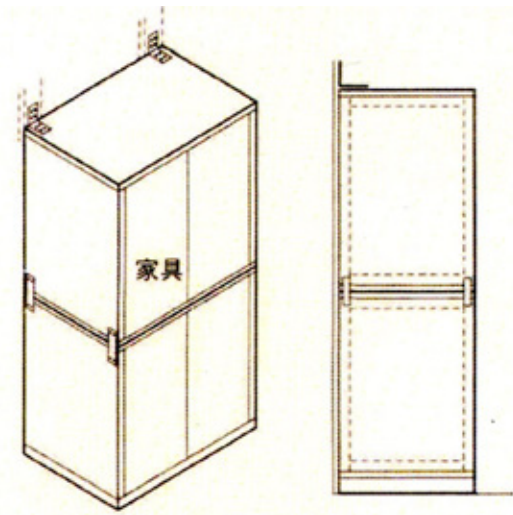
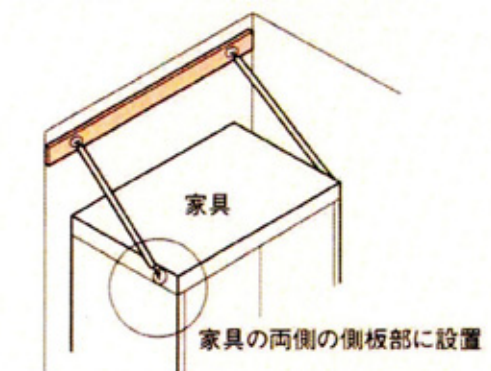
「ストッパー」を入れると、家具が壁側に傾いて手前に倒れにくくなります。



(出典) 消防庁：震災対策ビデオ(2009)、「地震による家具の転倒を防ぐには」をもとに作成

## 家具の配置・固定の工夫

「真壁」のように家具の上に鴨居があり、10cm以上離れている場合は、「ベルト式」「チェーン式」も効果的です。取り付けの際は、ベルトを30度以下の角度にピンと張って固定します。



### 4 積み重ね家具の固定方法

上下に積み重ねて使う家具は、家具の側面等で上下を連絡した上で、最上部を壁の「間柱」に固定するようにしましょう。また、家具の内側も固定する方法があるので、家具の専門家に相談してみましょう。

### 5 ガラス飛散防止フィルム

食器棚は、壁に固定する以外に、ガラス部分が破損することと、食器の飛び出しに注意が必要です。ガラスが割れるのを防ぐため、「ガラス飛散防止フィルム」を貼ります。ガラス部分の表と裏の両方に取り付けると、さらに強度が増します。



## 家具の配置・固定の工夫

## ⑥ 扉開放防止器具

食器棚などの観音開きの扉は地震のとき開きやすいので、「扉開放防止器具」を取りつけてください。キッチンの引き出しは、地震の揺れで飛び出してしまうことがあるので、「引き出しストッパー」を取り付けましょう。

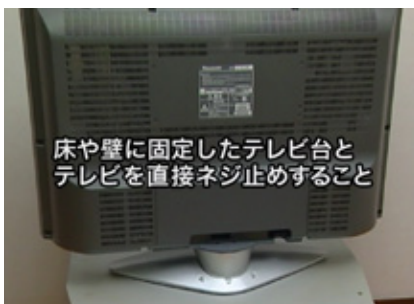


## ⑦ テレビ等の固定

テレビも地震のとき、倒れるとたいへん危険ですので、倒れないようにしっかり固定しましょう。最も確実な方法は、床や壁に固定したテレビ台とテレビを直接木ネジ等で固定することです。

ネジ穴が無いテレビは、壁の「間柱」等にヒートンを取り付けてロープでテレビを固定します。壁に穴を開けられない場合は、「ストラップ式」を4本以上使って固定します。小型のテレビであれば、「粘着マット式」や「ストラップ式」で大丈夫です。

いずれの場合も、まずは、テレビ台をきちんと固定した上で行ってください。



## ⑧ 電子レンジや冷蔵庫

電子レンジは、テレビと同様にストラップ式や粘着マット式で固定します。それぞれ、重さに応じてストラップや粘着マットの数を増やしてください。冷蔵庫は、上部の後ろ側にベルトの取り付け部分がありますので、ロープを使って、テレビと同じ要領で壁に固定しましょう。壁に穴を開けられない場合は粘着タイプの「ストラップ式」で固定することができます。

